

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

令和 5 年度事業分

令和 6 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

目次

| | |
|----------------------------|----|
| ○はじめに | 1 |
| ○教育委員会の活動状況 | 2 |
| ○主要事業の点検評価 | 6 |
| ○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート | 12 |

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

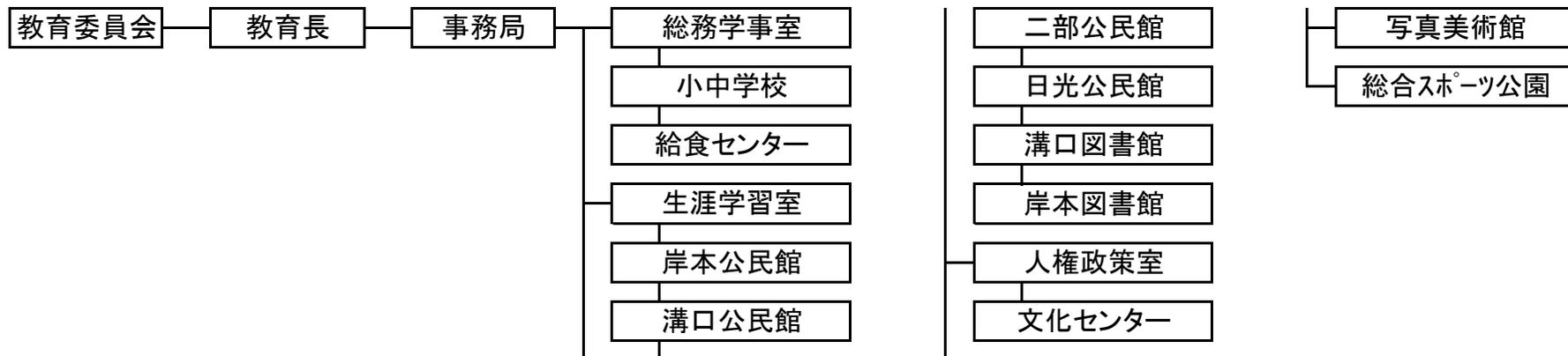
○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和 5 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(令和6年4月1日現在)

| | |
|----------|---------|
| 教育長 | 箕 浦 昭 彦 |
| 教育長職務代理者 | 大 木 寿 之 |
| 委 員 | 羽 田 成 夫 |
| 委 員 | 濱 田 真 代 |
| 委 員 | 藤 原 美 枝 |

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

| 開催日 | 会議別 | 案件区分 | 案件名 |
|--------|-----|------|----------------------------|
| 4月 11日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 議事 | 学校運営協議会委員の任命について |
| | | 議事 | 図書館協議会委員の任命について |
| | | 議事 | 社会教育委員の委嘱について |
| | | 議事 | 公民館運営審議委員の委嘱について |
| | | 議事 | 要保護準要保護児童生徒の認定について |
| | | 議事 | 鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について |
| | | 協議 | 令和5年度伯耆町社会教育計画について |
| | | 協議 | 教育委員会表彰規程の改正について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 5月 29日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 報告 | 令和5年5月臨時議会提出案件等の結果について |
| | | 議事 | 学校校務分掌主任等の任命について |
| | | 議事 | 文化財保護審議会委員の任命について |
| | | 議事 | 要保護準要保護児童生徒の認定について |
| | | 協議 | 令和5年度教育委員会関係補正予算の原案について |
| | | その他 | 令和5年度伯耆町教育委員会学校計画訪問実施計画 |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 6月 29日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 報告 | 6月定例町議会提出案件等の結果について |
| | | 報告 | 令和5年度前期標準学力調査の結果について |
| | | 議事 | 学校給食費の額の変更について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 8月 1日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 議事 | 令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について |
| | | その他 | 伯耆町町民運動会について |

| | | | |
|--------|---------------------------|-------|---------------------------------|
| | | その他 | 伯耆町「夏休みのお楽しみ」について |
| | | その他 | 前期学校訪問のまとめ |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 8月28日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 報告 | 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について |
| | | 協議 | 人権擁護委員候補者の推薦について |
| | | 協議 | 令和5年度教育委員会関係補正予算(第3号)の原案について |
| | | 協議 | 令和4年度教育委員会関係予算の決算の原案について |
| | | 協議 | 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について |
| | | 協議 | 法人の経営状況について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| | | 9月26日 | 定例会 |
| 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 | | |
| 報告 | 9月定例町議会提出案件等の結果について | | |
| 議事 | 要保護準世保護児童生徒の認定について | | |
| その他 | 後期学校訪問の日程について | | |
| その他 | 伯耆町総合教育会議について | | |
| その他 | 伯耆町議会教育民生常任委員会との意見交換会について | | |
| その他 | 事務連絡 | | |
| 10月30日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 議事 | 校区外就学について |
| | | その他 | 伯耆町総合教育会議資料について |
| | | その他 | 令和6年度新規事業について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 11月27日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 協議 | 令和5年度教育委員会関係補正予算の原案について |
| | | 協議 | 伯耆町スポーツ推進計画(第3次)について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 12月18日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |

| | | | |
|-------|-----|-----|--|
| | | 報告 | 12月定例町議会提出案件等の結果について |
| | | その他 | 学校訪問のまとめについて |
| | | その他 | 町政に関する要望書について（議会） |
| | | その他 | 町民岸本グラウンドナイター設備設置に関する陳情について |
| | | その他 | 令和6年度当初予算編成に係る要望について（校長会） |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 1月23日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 議事 | 伯耆町スポーツ推進計画（第3次）の策定について |
| | | 協議 | 令和5年度伯耆町教育委員会表彰受賞対象者の決定について |
| | | その他 | 中学校部活動の地域移行について |
| | | その他 | 卒業式・入学式出席者確認について |
| | | その他 | 3月臨時教育委員会の開催について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 2月21日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 議事 | 伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について |
| | | 協議 | 伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部改正に関する議案の原案について |
| | | 協議 | 令和6年度教育委員会関係当初予算の原案について |
| | | 協議 | 3月定例町議会提出案件（二部公民館のあり方検討会の協議状況）について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 3月8日 | 臨時会 | 議事 | 令和6年度 伯耆町小中学校の教職員の人事異動内申について |
| | | 協議 | 伯耆町部活動の在り方に関する方針の改定について |
| | | その他 | 事務連絡 |
| 3月27日 | 定例会 | 報告 | 教育長報告 |
| | | 報告 | 当面の教育委員会関係行事予定 |
| | | 報告 | 3月定例議会提出案件等の結果について |
| | | 報告 | 令和5年度後期標準学力調査の結果について |
| | | 報告 | 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について |
| | | 報告 | 教育委員会表彰の追加について |
| | | 議事 | 令和6年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について |

| | | |
|--|-----|--------------------------|
| | 議事 | 鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について |
| | 議事 | 要保護準要保護児童生徒の認定について |
| | 協議 | 令和6年度伯耆町学校教育基本方針について |
| | その他 | 入学式告示案について |
| | その他 | 事務連絡 |

| | | |
|-----------------|-------|----|
| | 開催回数 | 13 |
| 案件別 提出 件数 | 報告件数 | 34 |
| | 議案件数 | 19 |
| | 協議件数 | 16 |
| | その他件数 | 30 |
| | 合計 | 99 |

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会(倉吉市)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会(日野町)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研修会(倉吉市)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会合同研修会(日吉津村)

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 教職員離任式

(3) その他

- 二十歳を祝う会
- 総合教育会議(1回)

令和 5 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

令和 5 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

基本目標1 「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」

施策(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・小中一貫学力・人間力定着事業
 - ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
 - ・栄養教諭等による食育の充実
 - ・運動部活動推進員の配置
 - ・人権教育の推進
 - ・体験学習の充実など
- ###### ②教職員の指導力向上のための研修の充実
- ・校内研修への外部指導者招聘
 - ・町教委主催各種研修会の実施など
 - ・町教振研究大会での悉皆研修

施策(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

①保育所・小学校・中学校一貫教育の推進

- ・保小中一貫カリキュラムの学習指導要領に合わせた改訂（伯耆I学習を含む）
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・小中学校教職員の交流
- ・ふるさとキャリア教育
- ・合同授業研究会など

②保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

- ・伯耆町就学支援検討会
- ・早期支援コーディネーター配置
- ・中学校区を単位とする小中学校連携事業の推進
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

施策(3) 人にやさしい学校教育環境の整備

①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
- ・学習支援員と学校司書の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など

- ・部活動指導員等の配置
- ・就学援助

②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ・学校施設・設備の充実
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・ICT環境の整備
- ・ICTに関する教職員の研修や支援の充実

- ・ICT機器の活用促進
- ・体育館照明LED化の検討
- ・給食会計の公会計化検討など

基本目標2 まちぐるみで取り組む教育の推進

施策(1) 学校・家庭・地域・行政の連携

①家庭教育の充実

- ・家庭教育ハンドブックの活用促進
- ・放課後子供教室

- ・家庭教育支援チーム
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

②まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進

- ・学校運営協議会・地域学校協働本部と学校との協働
- ・伯耆町教育ネットワーク会議の取組拡充

- ・学校支援ボランティア制度の充実など

施策(2) みんなで取り組む青少年の健全育成

①「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進

- ・あいさつ運動の推進など

②ふるさとを支える青少年の育成

- ・ふるさとキャリア教育
- ・伯耆I学習の推進
- ・地域の特性に根差した体験活動の充実

- ・通学合宿
- ・教育交流事業など

基本目標3 学び続け輝き続けるための環境づくり

施策(1) 心豊かな生活を創る学びの推進

①生涯学習の推進

- ・ 公民館を核とした住民活動支援と関係課との連携
- ・ 生涯学習情報の積極的な発信
- ・ 住民参画・協働による生涯学習事業の検討
- ・ 溝口公民館改修
- ・ 地域指導者の発掘
- ・ 成人団体の育成など

②読書活動の推進

- ・ 図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・ あたまいきいき音読教室の開催、出前図書館など

施策(2) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権尊重のまちづくりの推進

- ・ 明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・ 人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・ 相談業務の拡充
- ・ 個別計画に基づく事業の推進
- ・ 文化センター活動の充実など

施策(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・ 文化財調査及び文化財保護
- ・ 文化財教室等の開催
- ・ 郷土学習の支援
- ・ 文化財の保存・展示施設の整備など

②地域芸術文化の振興

- ・ 伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・ 文化施設の適正管理及び利用促進
- ・ 芸術文化活動の発表の場づくり
- ・ 文化芸術団体等の活動支援と活動の周知
- ・ 鬼の館長寿命化など

基本目標4 スポーツや運動を通じての心と体の健康づくり

施策(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援

①幼児・小中学生のスポーツ活動の推進

- ・ ジュニアクラブの活動支援
- ・ スポーツクラブとの連携による健康づくり
- ・ 保育園児への運動指導など

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・ニーズに沿ったスポーツ教室等の開催

- ・運動、スポーツに関する啓発・情報提供など

施策(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・スポーツ関係団体と連携した事業の推進
- ・スポーツ団体の活動支援
- ・体育施設の適正管理

- ・海洋センター（体育館・プール）、武道館の照明LED化検討
- ・グラウンド等夜間照明の在り方の検討など

施策(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

①スポーツ交流の充実・支援

- ・教育委員会表彰によるスポーツボランティアの顕彰

- ・町民対象のスポーツ大会の充実など

②競技スポーツの支援

- ・教育委員会表彰による功績等の周知
- ・スポーツ優秀選手への補助金交付

- ・全国大会等出場選手の周知など

□評価方法

1. 評価記号の説明

| 評価記号 | 説明 |
|------|--|
| ◎ | ・新規に企画された事業で目標が達成された事業 |
| ○ | ・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業 |
| △ | ・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業 |
| ▲ | ・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業 |
| ● | ・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業 |

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

| 「(1)評価記号」の説明 | 達成値 |
|-------------------|-------------|
| 「目標が達成された」 | 90%以上 |
| 「目標がほぼ達成された」 | 70%以上 90%未満 |
| 「目標達成が不十分」 | 50%以上 70%未満 |
| 「目標がほとんど達成されなかった」 | 30%以上 50%未満 |
| 「実施しなかった」 | 30%未満 |

3. 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

4. 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業等の扱いについて

◇点検評価の基本的な考え方

事業や活動数で評価をしているのではなく、ねらいが達成できているかで評価する。

①事業そのものがまったくできなかった場合（例：運動会、町スポーツ大会など）

「空欄とする」

事業をやってはいけない状況であり、できなかった事業を評価することはできないため

②いくつかの事業は実施できた場合（公民館体験活動など）

実施状況に応じ、ねらいが達成できたかどうかで評価する「○」「△」など

③予定していた事業に対し代替となる取組を行った場合（通学合宿など）

ねらいが達成できているかどうかで評価する「○」「△」など

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--|--|--------|---|----------|---|--|----|--|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進 | ① 確かな学 力と規範意 識の向上、 豊かな心と 健やかな体 を育む教育 の充実 | 1 | 学力向上推進計 画策定と進捗管 理 | 総務 学事 | 全国学力・学習状況調査及び標準学 力調査(年2回)の結果をもとに、各学 校毎に児童生徒の学力向上に向けた 取り組みを計画的に実施すると共に、 継続的な計画の取り組みによって、的 確な指導体制を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町教委が標準学力調査及び全国学力・学習状況調査を分析し、学力向上への視点を提供した。 ・各学校は、学力向上推進計画を作成し、実施することができた。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 2 | 標準学力調査及 び分析の実施 | 総務 学事 | 標準学力調査を年2回実施し、学力の 定着状況を把握・分析することで、児 童生徒の課題の改善及び教育施策の 成果と課題を検証する。また、教育指 導の改善、学力向上推進計画のPDCA を継続的に行う体制を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫学力向上推進担当者会において、各学校の学力調査の結果を校区ごとに分析し共有した。 ・「SP表」等を活用し、各学校学年・学級ごとの学力の様相を教科担当が把握する仕組みを整備した。これにより、学習集団ごとの授業改善の取組につなげることができた。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 3 | 小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・学力補充関係 事業 | 総務 学事 | 各学校毎に、学習状況に課題のある 児童・生徒を対象にした学力補充教室 を開催すると共に、指導補助員を配置 し、よりきめ細やかな指導体制を整備 することで、児童生徒の学力向上を図 る。 また、英語教育推進を目的に、英語学 習に目的意識を持って取り組めるよう 英検受験料補助事業を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・伯耆未来塾を実施することで学習の場を提供し、生徒の学習習慣の確立や学力向上の一助となっている。 ・英検受験について、小学生の受験機会を提供した。中学校英語学習や中学校英語検定受験へつながっている。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 4 | 体力向上計画策 定と進捗管理 | 総務 学事 | 全国体力・運動能力・運動習慣調査の 結果をもとに、各学校毎に体力向上計 画を策定し、体力向上等に対する的確 な指導体制を確立することで、児童生 徒の健康増進に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校毎に体力向上計画を策定し、中間報告を行いながら、課題に応じた体力向上の取組を実施した。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|---|--|--------|------------------|------------|---|--|---|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ) | ① 確かな学 力と規範意 識、豊かな 心と健やか な体を育む 教育の充実 (つづき) | 5 | 小学校外国語教 育推進事業 | 総務 学事 | 令和2年度から新学習指導要領の全 面実施に伴い、導入されている小学校 での外国語教育の円滑な移行に向け て、町内4小学校を受け持つALT1名を 配置する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への英語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置して英語教育を支援するとともに、国際理解教育を支援した。 ・引き続き、児童の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 6 | 外国青年招致事 業 | 総務 学事 | 岸本中学校と溝口中学校にALTを1名 ずつ配置し、生徒の英語能力の向上 に資する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実を図った。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 7 | 栄養教諭による 食指導 | 給食セン ター | 栄養教諭1名、要望による加配職員1 名の計2名で栄養指導を行い、学校給 食を通じて食育の推進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。 各学校に向向いての栄養指導等は、新型コロナウイルス感染症5類移行により、4年度よりも多く実施することができた。 また、4年度まで殆どの小学校で中止となっていた生産者やセンター職員と児童との交流給食も、5類移行により、全ての小学校で実施された。 ・県が育休・産休の代替職員等を募集しても、なかなか見付からないことが多々あるため、1人体制になった時の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--------------------------------|--------------------------------------|--------|----------------------------|------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進(つづき) | ① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実(つづき) | 8 | 伯耆町教育振興会事業 ・学校保健 | 総務学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギー対応などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。 朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 9 | 運動部活動推進事業 | 総務学事 | 地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動指導員配置事業(国事業)を活用し、岸本中学校でバスケットボール部、柔道部、バレーボール部、卓球部及び陸上部に、溝口中学校では柔道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図ることができた。 運動部活動外部指導者活用事業(県事業)は活用なし。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 10 | 特別非常勤講師配置事業 | 総務学事 | 地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 岸本小4名、八郷小2名、二部小5名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業や活動の充実が見られた。 引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 11 | 伯耆町教育振興会事業 ・人権教育 | 総務学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 町人権教育研究大会を11月16日にリモートにより開催し、ふたば保育所、岸本中学校の取組を実践発表した。また、人権教育主任会を開催し、人権教育推進の方向性についての共通理解及び各学校の人権教育の取組についての情報共有を図った。 人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | ② 教職員の指導力向上のための研修の充実 | 12 | 小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会 | 総務学事 | 各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 各校授業研究会のほか、本事業を活用した外部講師の招へいによる授業研究会等を、岸本小1回、八郷小2回、二部小1回、岸本中1回、溝口中1回を開催し、学力向上計画を推進した。 学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---|--|--------|------------------------------------|----------|--|---|----|--|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ) | ② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ ぎ) | 13 | 小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・教委研修会 | 総務 学事 | 小中一貫教育・人間力定着の取り組みをより有効なものにするため、教員の授業力や管理職等のマネジメント能力を高める管理職研修会等を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫授業力向上研修会として、協同学習をテーマとして取り上げ、実施した。 ・学校管理職研修会についても協同学習をテーマとして実施し、研修に一貫性を持たせた。 ・保小中一貫教育の理念に基づいて、各種研修会の企画意図を明確にし、取組に一貫性を持たせるよう整備する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 14 | 伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会 | 総務 学事 | 学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内小・中の全教職員等を対象に、「協同的な学びを意図した学習指導の実際」を演題とする講演会(講師:米子市立美保中学校 隠樹 恭衣 教諭)を開催し、協同学習を視点とした先進的な授業づくりについて、学ぶ機会を設けた。 ・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向上を図る。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 15 | 伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会 | 総務 学事 | 授業研究会を開催することで、個々の教職員の資質・能力を高めるとともに、教職員の協働性を高め学校力の向上・充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 岸本小4回 八郷小7回 岸本中3回 岸本中学校区合同1回 二部小7回 溝口小5回 溝口中2回 溝口中学校区合同1回 ・学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 16 | 伯耆町教育振興 会事業 ・生徒指導 | 総務 学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休中の児童生徒向け放送について ・第2回生徒指導担当者会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休中の児童生徒向け放送について ・研修会 町教振研究大会において、島根大学特任教授 藤原建先生による研修会を実施し保小中一貫教育の視点を共有した。 ・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、各種研修の配置と、カリキュラムの恒常的な改訂について推進する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 17 | 学校要請訪問、 学校随時訪問 | 総務 学事 | 各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---|--|--------|---|----------|---|---|----|--|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ き) | ② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ き) | 18 | 学校計画訪問、 行事訪問、講師 訪問、本務者訪 問 | 総務 学事 | 各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町教委学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各式典参列) ・西部教育局学校訪問 各学校2回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改善を促していく必要がある。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| 1-(2) 保育所・小 学校・中学 校の滑らか な接続 | ① 保育所・小 学校・中学 校 一貫教育 委の推進 | 19 | 伯耆町教育振興 会事業 ・保小中一貫教 育 | 総務 学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小、小・中の交流を進め連携を図った。 ・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、各種研修の配置と、カリキュラムの恒常的な改訂について推進する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 20 | 小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・小中一貫関係 事業 | 総務 学事 | 保小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研究会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教科書採択の結果に基づいて、『保小中一貫カリキュラム』を作成した。これを、標準学力調査の結果を反映させたものへ刷新した。 ・中学校教科書採択の結果を『保小中一貫カリキュラム』に反映させ、効果的な運用を行う。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 21 | スクラム教育事 業 (保・小・中の児 童・生徒交流活 動) | 総務 学事 | 中学校区での保・小・中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> 小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を発行した。 ・岸本中学校区 小中交流会2回 保小交流会3回 ・溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会7回 ・町教振保小中一貫教育部会を中心に、校種間の円滑な接続を目指した取組を推進する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 22 | 中学校教員の小 学校への乗入授 業 | 総務 学事 | 小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・溝口中学校区において、小学校へ音楽科の乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。 ・教職員の配置によるが、可能であれば乗り入れ授業を実施する。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|----------------------------------|-------------------------|--------|---------------------|------|--|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき) | ② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続 | 23 | 就学支援検討会 | 総務学事 | 小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適応などの2次障害を防止する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。 ※保→小23件、小→中10件の事案について対応・支援 ・観察記録シートを改善し、視点を細分化したことで、必要な支援についての協議の充実が図れた。 ・全体会では、関連機関との顔合せができた。また、適切な就学、必要な支援の継続について、共通理解や確認ができた。各小中、保幼の機関との連絡会を個別に行うことで、就学に向けた連携のスタートができた。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 | |
| | | 24 | 伯耆町教育振興会事業 ・就学支援 | 総務学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもたちの進路についての研修会を開催し、特別支援学級卒業後の進路先データなどをもとに、子どもたちの自立、社会参加するために必要な教育、つまり一人一人が抱える困難を適確に把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことの大切さを学んだ。 ・次年度も長期休業を利用して、研修を行いたい。 | | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 25 | 中学校区の児童生徒を語る会 | 総務学事 | 小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中学校区：各学期1回、溝口中校区：各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 | | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--------------------------|----------------------|--------|--------------------------------|------|--|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備 | ① 人にやさしい学校教育環境の整備 | 26 | 少人数学級実施事業 | 総務学事 | 小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・岸本中 少人数学級実施(1・2・3年) 定員5名増 ・溝口中 少人数学級実施(2年) 定員1名増 ・八郷小 複式解消(2・3年) ・二部小 複式解消(5・6年) ・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づき、速やかな生徒指導の実施、中学校進学への動機づけ等多角的に教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 27 | スクールソーシャルワーカー活用事業 | 総務学事 | いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SSW1名、SSWS2名を配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議数 教職員:11回 関係機関含: 15回 教育支援センター相談員をSSWS(サポーター)として学校へも不定期に派遣し、よりタイムリーな相談活動、情報収集活動を行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 28 | スクールカウンセラーとの連携 | 総務学事 | 本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SSWとSCの勤務日をできる限り合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握や問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。 ・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。 ・継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 29 | 特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター | 総務学事 | 特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。 ・保護者への相談会を実施し、発達障がいをはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。 ・早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制を構築する。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|-------------------------------|---------------------------|--------|--------------------------|------|--|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | ① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | 30 | 特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等 | 総務学事 | 特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。 ・学習支援員 岸本小6名 八郷小1名 溝口小3名 二部小1名 岸本中1名 溝口中1名 ・卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 31 | 学校図書整備及び学校司書配置 | 総務学事 | 各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や児童生徒の読書活動推進に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。 ・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。 ・学校図書システム導入にむけ、利用可能な補助金等の財源について検討を進める。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 32 | 校務支援システムの活用 | 総務学事 | 校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、平成30年度より運用開始となった。校務支援システムを活用することで、教職員の業務が軽減された。 ・システム研修等を重ねて、一層の有効活用を図る。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 33 | 教育支援センター運営事業 | 総務学事 | 溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・通級児童生徒 中学生3人 小学生1人 ・指導員1名、相談員2名を配置 ・毎月定例会を開催しSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 ・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。 ・子どもの状況を把握した上での必要な支援について長期的な視点と短期的な視点とを持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 34 | 就学援助事業 ・要保護、準要保護 | 総務学事 | 生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度認定:94名(60世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(49/60)。 ※入学前支給(10名) ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|-------------------------------|-----------------------------|--------|----------------------------|------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | ① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | 35 | 就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金 | 総務学事 | 特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度認定：19名(18世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | ② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備 | 36 | 学校施設整備事業 | 総務学事 | 老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。 【主な施設修繕】 溝口小学校、二部小学校、溝口中学校空調機修繕工事 溝口中学校グラウンド整備工事 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 37 | 小学校施設修繕事業 | 総務学事 | 小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 八郷小：プールサイド床面補修 二部小：階段腰壁嵩上げほか ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 38 | 中学校施設修繕事業 | 総務学事 | 中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中：給水システム修繕 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|-------------------------------|----------------------------------|--------|----------------------|------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | ② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき) | 39 | 教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業 | 総務学事 | 各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。 ・引き続き、必要な備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 40 | 学校安全体制整備推進事業 | 総務学事 | 小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 41 | バス事業担当課との連携 | 総務学事 | バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。 ・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。事故等があった場合の対応について検討する。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 42 | ICT環境の整備 | 総務学事 | ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員支援のためのICT支援員の配置(2名)、導入機器の保守管理・トラブル対応、フィルタリングソフトの導入による有害サイトアクセス制限やオンライン授業で発生する著作権料支払い(授業目的公衆送信補償金)等により、効果的かつ安定的なICT活用体制を整備した。 ・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図るとともに、教員支援も行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 43 | 防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実 | 総務学事 | 各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校作成の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、防災教育、避難訓練等を実施した。浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校については、水防法及び土砂法に基づき避難確保計画を策定し、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。 ・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|-------------------------------|----------------------------------|--------|---------------------|--------|--|---|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | ② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき) | 44 | 学校給食施設管理運営事業 | 給食センター | 安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 調理業務等の民間委託を引き続き実施(現契約は令和7年度まで)。 各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。 調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕、買い替え。 学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がないか確認を行なった。 学校給食だよりに給食のレシピを毎月1品ずつ掲載した。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 45 | 学校給食費補助事業 | 給食センター | 給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき210円の補助を実施する。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、事務等を進め、アレルギー対応については、問題点等があれば改善していく。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 46 | 食材供給連絡協議会との連携 | 給食センター | 伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。 ・210円/食 補助額 30,518,461円 (手術後に固形物が食べられなかった児童の牛乳のみ補助1,261円を含む。) 令和6年度は、学校給食費 1食当り12円を値上げするが、併せて補助額を1食当り12円増額し、222円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 47 | 伯耆町教育振興会事業 ・学校事務 | 総務学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 協議会との調整会議を月1回開催 伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】56.3%(前年度52.8%) 町内産のみで賅えた主な食材 白菜、さつまいも、そうめんかぼちゃ、冬瓜、梨、メロン、かぶ、ヤーコン、ゴーヤ、ズッキーニ、りんご、いちご、モロヘイヤ、カリフラワー等 町内産食材の使用率の一層の向上 協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 共同学校事務室で取り組む業務の改善と標準的な職務内容を理解し校務運営に参画することを重点目標として、定期的な会合を開催し、共同学校事務室で取り組む事項についての業務分担・調整や危機管理研修として安全点検に関する研修を行った。 共同学校事務室として予算執行できるように予算科目の整理を行った。 共同学校事務室での業務について更に調整・検討していくことで、校務運営への参画につなげていく必要がある。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|-------------------------------|----------------------------------|--------|--------------------|------|--|--|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき) | ② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき) | 48 | 青雲寮管理運営事業 | 総務学事 | 溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。 | 溝口中学校調理教室及び合宿等その他利用ができるように適切な施設の維持管理及び運用に努めた。 継続して適切な維持管理を行う。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 2-(1) 学校・家庭・地域・行政の連携 | ① 家庭・教育の充実 | 49 | 家庭教育支援事業 | 生涯学習 | 家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。 | ・青少年育成伯耆町民大会の家庭教育講演会が開催でき、100名弱の参加者が集まった。インターネットの危険性について、保護者、地域、教職員等80名程度が集まった。各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会も開催し始めた。 ・1歳6か月健診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施。 ・チームの構成各課での取組や家庭教育支援チームの取組の周知をねらい、広報等で知らせた。各課での取組や家庭教育講演会について情報交換し、取組の広がりにつながる協議を行った。 ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 50 | 家庭教育ハンドブック配布及び活用事業 | 総務学事 | 小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。 | ・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の3冊(前期編・中期編・後期編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。 ・今後も、家庭教育ハンドブックの配布を引き続き行いたい。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 51 | PTA協議会補助金 | 生涯学習 | 町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。 | 例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和5年度は補助対象となる事業が実施されなかったため、補助金交付はなかった。 伯耆町PTA協議会との連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。 伯耆町PTA協議会が事業実施される際には、補助金を交付する。 | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--|--|--------|---------------------|----------|---|--|----|--|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つ づき) | ② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進 | 52 | 学校運営協議会 運営事業 | 総務 学事 | 学校運営協議会制度(コミュニティ・ス クール)を導入し、保護者・地域・学校 が一体となって、学校経営に参画し、 地域に開かれ、地域に根差した学校づ くりに取り組む。 平成30年度からは、各学校運営協議 会の調整、学校支援活動の情報提供 や地域学校協働本部事業の運営を行 うため、CSディレクターを配置した。 | <p>・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニ ティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯 耆町教育ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づ くり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学 校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域 に目が向くようになった。</p> <p>・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を 行う。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 53 | 地域学校協働本 部事業 | 生涯 学習 | 地域住民が教育に関心を持ち、学校 の教育活動に関わることで、子どもた ちに多様な体験と交流の機会を提供 し、確かな学力と人間力を向上させる。 大人にとっても、新しい仲間づくり、生 きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋 げる。 | <p>①支援実績 学習支援226件、環境整備45件、学校行事24件、 児童生徒による地域貢献48件</p> <p>②会議 コーディネーター定例会6回</p> <p>③研修 全国CSコミュニティ・スクール研究大会 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会 ※全国CS研究大会では、伯耆町CSディレクターが「学校と地域でつくる子どもた ちの学びと未来」と題し、地域貢献活動の推進に向けた取組を発表した。</p> <p>・持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。子どもたちから地域に向けた「地 域貢献活動(ゆめネット)」の推進。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の 一体的な取組の推進。</p> <p>・学校教職員と地域コーディネーターとの連携・協働による、社会に開かれた教育 課程の実現(伯耆I学習を中心とした地域学習の充実)に向けた取組及び小中一 貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの取組推進。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 54 | 伯耆町教育ネッ トワーク会議事業 | 生涯 学習 | 社会の一員として自立していく児童生 徒育成に向け目指す人間像を設定し、 その実現に向けた保小中一貫した共 通の取組等の協議を行う。 | <p>「あいさつの響きあう町 伯耆町」の取組を推進するために、学校・保護者だけで なく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進めた。→ チラシ、ポスター、広 報紙、防災無線、のぼり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げた。</p> <p>引き続き、関係機関、地域住民に運動を広げていくために、実施状況を把握し、 広報誌等を活用した広報活動を行う。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|------------------------------|-----------------------------------|--------|---------------------|------|--|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 2-(1) 学校・家庭・地域・行政の連携(つづき) | ② まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進(つづき) | 55 | 子供の体験活動事業 | 総務学事 | 各学校で独自に、地域学校協働本部と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施する。 | <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作物・米・花栽培 ○遠足の協力 ○スキー教室等 <p>学校の教育課程と関連させた活動に地域の方々を巻き込んでいけるよう、学校運営協議会や学校支援コーディネーターと引き続き連携していきたい。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 56 | 放課後子供教室 | 生涯学習 | 子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。 | <p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・木) 86回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 97回 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 <p>・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。 ・マチコミによる欠席連絡を導入し、連絡の徹底を求めた。指導者との連絡を意識して行い、運営の改善を図る。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 57 | 伯耆町教育振興会事業 ・地域教育 | 総務学事 | 保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。 | <p>ほうき「ひとまち未来」アクションフォーラムへ参加した。 「地域の資源を知るための事業」として、二部地区活性化推進機構に講師をお願いし、ふるさと巡り研修を実施した。</p> <p>・「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニティスクール担当と学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成 | ① 「共育」「見守り」環境の整備 | 58 | 青少年育成伯耆町民会議運営支援 | 生涯学習 | 地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催(2回) ・青少年育成伯耆町民大会を、1/29に開催。 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加。 ・少年を守る店啓発事業(27店舗) ・「家庭の日」川柳の募集(応募数797点) ・「家庭の日」川柳について、入選作品(33点)をCATVで放送するなど周知を図った。 ・通学合宿を4年ぶりに実施することができた。 <p>・青少年育成伯耆町民会議の活動を町民に広報やHPでの周知が必要。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|--------------------------------|--------------------------|--------|------------------------|-------|--|---|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき) | ① 「共育」「見守り」環境の整備(つづき) | 59 | 高校生サークル((旧)高校生ユースセミナー) | 生涯学習 | 町内の高校生でサークルを組織し、地域貢献活動や事業の企画・運営を通して、地域愛や自主性・責任感を高め、まちの将来を支えるリーダーの育成を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内2駅を利用する高校生、卒業する中学3年生に対し加入促進チラシの配布し、JR岸本駅・伯耆溝口駅構内にポスターの掲示した。 ・現在加入者0名。 ・コロナ禍以前は先輩が後輩を引き込む形でサークルが存続していたが、コロナ禍をきっかけにその繋がりが途切れてしまい、メンバー集めに苦戦している。 ・継続的に事業を行えるよう、中学生年代からボランティア活動に積極的に参加している児童に声をかける等工夫が必要。 ・中学校と連携し、中学生⇄高校生の流れを作るよう働きかける。 | ▲ 継続事業達成不十分50%以上又は新規事業未達成30%以上 |
| | ② ふるさとを支える青少年の育成 | 60 | 子供の体験活動事業 | 岸本公民館 | 夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み体験事業は公民館教室体験事業(4教室5事業)や公民館主催事業の巣箱作りを実施し、83名の参加があった。 ・土曜日のお楽しみでは、2回の開催で延べ24名の参加があった。 ・引き続き八郷小児童も参加しやすいように八郷小学校を会場とした子ども体験事業の機会を設ける。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | 溝口公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々との協力で、世代間交流を推進した。 ・夏休みお楽しみ事業8(前年3)事業を実施し、106(前年40)名参加があった。冬休みのお楽しみ事業2(前年1)事業を実施し、21(前年8)名の参加があった。土曜事業3事業を実施し、62名の参加があった。また、中学生ボランティアも事延べ13人の参加があった。 ・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。 ・子供の体験活動を通じて地域貢献ができるような事業を企画していきたい。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|--------------------------------|--------------------------|-------------|-----------------|-----------|---|---|---|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき) | ② ふるさとを支える青少年の育成(つづき) | 60 (つづき) | 子供の体験活動事業(つづき) | 二部 公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。 ・森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力し事業を実施した。 ・夏休みの事業 実施回数:35 延べ参加人員:844名 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・子ども・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。 ・4館合同の事業を継続していき、子どもたちの交流を図る。 ・本年度は、米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設する。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | 日光 公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。 ・土曜事業(1回・9名)、夏休みのお楽しみ事業(2回・10名)を実施した。 ・溝口小学校の「冬みつけ」(1回・38名)ではコロナが明けたため、豚汁の提供を復活するとともに地区住民の参加も募った。 ・日光地区協議会主催事業の「大山日光清流まつり」は熱中症対策が難しいことから廃止とし、日光公民館事業の夏休みのお楽しみ事業(生き物探し)を開催して自然体験事業に取り組んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討をしていきたい。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 61 | 二十歳を祝う会((旧)成人式) | 生涯学習 | 明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、二十歳を祝福し激励する記念式典を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近の影響で式典の一部を省略して実施した。 ・開催日:8月15日(火) 会場:鬼の館 参加者:72名 ・欠席者向けに式典の様子を収録し、後日動画配信サイトで配信を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近の影響で開催するかどうかの問い合わせがあったため、防災無線で開催の可否について流すことが必要 ・記念品について、フォトギャラリーを変えた方がいいという意見が出ている。 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--------------------------------|--------------------------|--------|-------------------|-------|--|---|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき) | ② ふるさとを支える青少年の育成(つづき) | 62 | 通学合宿事業 | 生涯学習 | 「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。 | 4年ぶりに3泊4日で通学合宿を実施することができた。「帰ってきてから子どもの行動に良い影響があった」とほとんどの保護者から肯定的な意見があった。 実施日：10月9日(月)～12日(木) 当日参加者：18名 ・定員を減少したことによって、希望する児童全員を受け入れることが出来なかった。今年度は2回実施することによって、全員を受入れたい。 ・スタッフの確保が難しい。今後の継続的な事業の実施のためにも募集時期、対象の検討が必要。 ・「児童・保護者説明会」に加えて、スタッフ説明会を実施する。 ・応募者多数のため希望者全員を受け入れることができなかったためR6年度は回数を2回に増やし実施予定。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 63 | 読谷村教育交流 | 生涯学習 | 沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。 | ①夏の交流 沖縄県読谷村渡慶次地区 8月18日～21日 参加者 小学生17名、ジュニアリーダー2名、引率3名 ②冬の交流 伯耆町 2月9日～11日 参加者 小学生18名、ジュニアリーダー2名、事務局3名 民泊や文化交流を通して異文化を学ぶとともに、改めて伯耆町の文化、風土を学ぶきっかけとなった。中高生がジュニアリーダーとして小学生の手本となり、身近な指導者として活躍した。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進 | ① 生涯学習の推進 | 64 | 公民館改修又は空公共施設の有効活用 | 生涯学習 | 溝口中学校特別教室棟の老朽化のため改修が必要な状況のため、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、令和2年度に改修工事を完了した。 | 学校の授業、PTA、スポ少、通学合宿等で活用した。 引き続き学校教育、社会教育の活用場として有効活用を図る。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | 溝口公民館 | 溝口公民館改修工事による長寿命化及び省エネ化等を図り、施設・設備の適正管理及び利用者の利便性の向上を図る。 事業完了(令和3年度) 更なる有効活用を図ることが必要。 | | | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|------------------------------|---------------|--------|----------------------|-----------|--|---|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ①生涯学習の推進(つづき) | 65 | 生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催) | 岸本 公民館 | 年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級(高齢者学級、受講生45名)は、4月に開講式を行い、当初計画どおり年10回開催することができた。延べ258名の参加があった。 ・成人講座は教養講座と町外研修を各1回開催し、19名の参加があった。 ・家庭教育支援講座は、親子写真教室(植田正治写真美術館フォトスクール参加)を開催し、6組14名の参加があった。 ・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を開催。1回開催し、1名の参加だった。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | 溝口 公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級の受講生数は、平成30年度から35名程度で推移しているが、コロナ禍明けとなった令和5年度は45名と増加に転じた。アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。 ・出張公民館・図書館は、参加者は1名となった。八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催で、会場までの交通の便などに問題もあったと考えられる。事業継続は困難と考え、岸本公民館での各種事業の充実に注力する。 | |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。学園生は、令和4年度53人➡令和5年度52人。 | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|------------------------------|---------------|-------------|---|-----------|--|--|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ①生涯学習の推進(つづき) | 65 (つづき) | 生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき) | 二部 公民館 | 年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供する。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。 ・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。 ・米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していきたい。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | 日光 公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園: 会員数47人、事業実施回数15回、延べ参加者数174人 女子学級: 会員数55人、事業実施回数10回、延べ参加者数106人 引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。 ・会員数はいずれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。 | |
| | | 66 | 高齢者教室交流事業 | 溝口 公民館 | 各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から発表会は実施せず、講演、交流会だけ実施した。参加者95名 開催日: 7月7日(金) 会場: 鬼の館 ・健康対策課との共催で「健康づくりフォーラム」を開催した。参加者62名 開催日: 11月25日(土) 会場: 鬼の館 ・4公民館の高齢者教室学級生寄稿による文集「だいせん」を作成・配布 作成部数 240部 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・日光学園(高齢者教室 受講生26名)は、町外研修や人権学習・健康講座など計8回延べ102名の参加があった。 ・ふるさと学級では、添谷産のパパイヤを使った豚汁やそば打ちに取り組んだ。2回46名の参加があった。 ・日光学園生の高齢化により会員が減少傾向だが、声掛けにより参加者の減少に歯止めをかけたい。 ・日光学園生以外の参加を促すため、地区住民に行事を周知していく。 ・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していきたい。 | | | | |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級の役員で構成する「合同役員会」を開催により、企画立案を図る。参加型の講演により、参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。 ・文集「だいせん」の作成は、学園生に負担感となることのないよう配慮する。 | | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|------------------------------|---------------|--------|---------------|------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ①生涯学習の推進(つづき) | 67 | 社会教育委員 | 生涯学習 | 社会教育の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会開催(2回) ・社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 68 | 生涯学習まちづくり推進事業 | 公民館 | 生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町ホームページで生涯学習に関する催し物、情報提供 ・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 69 | 社会教育主事等の育成 | 生涯学習 | 生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 70 | 地区公民館との連携 | 公民館 | 地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。 | | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|------------------------------|----------|--------|---------|-----|---|---|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ②読書活動の推進 | 71 | 図書館管理事業 | 図書館 | <p>・「読書活動」が大人から子供まで生涯学習の基盤になることから、すべての世代に向けた事業を展開し、少しでも多く「読書」に親む環境づくりに努める。特に「読書」が子どもの脳の発達に影響することや認知症予防に影響を与えるという脳科学の見地から、子どもの読書習慣構築の支援や</p> | <p>・読書活動を推進するため、図書館来館の契機となる事業を展開した。 5月・・・子ども読書推進イベント 8月・・・よるの図書館(子ども向け) 土曜事業(点字で名医を作ろう) 10月・・・図書館へ行こうキャンペーン 11月・・・夜の図書館(大人向け) 12月・・・土曜事業(臨床美術に触れよう)</p> <p>・図書館から遠い場所にあつて、図書館を活用したいと希望する地域に図書をお届けることを目的として「出前図書館」を活用してもらふ。希望する集落に届ける。</p> | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|------------------------------|---------------|--------|---------|-----|--|--|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ②読書活動の推進(つづき) | 72 | 図書館振興事業 | 図書館 | <p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p> | <p>主な成果等</p> <p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回)、ブックセカンド事業、ブックサード事業、にこにこおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等啓発 (2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜事業 ・施設見学、職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立 ・町教振図書館部会との連携により、各学校における図書館教育の充実支援 ー町小中学校共通年計の作成(県立図書館と協力)指導案の作成 →図書館教育推進町 (3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業 ・秋の読書週間事業 (4)高齢者支援事業 ・あたまイキイキ音読教室 ・高齢者福祉施設への本の配送 ・出前図書館 (5)広報事業 ・図書つうしん発行 ・町ホームページ掲載 ・CATV「とっておき図書館」コーナーの充実 (6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力 ・県内図書館視察 ・県立図書館主催研修参加 (7)検索機器導入 ・全農協データ(アーカイブ)検索 ・朝日新聞全データ検索可能(1985年以降) (各館独自事業) 【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(15回)</p> <p>-----</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発することも公共図書館の重要な役割であると捉え、今後も関係課等と連携を図りながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。</p> <p>・布絵本ちくちく教室では会を重ねるごとに本としての多数の作品が完成している。布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。</p> <p>・令和5年に小学校の教科書が改訂されたことから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。</p> <p>また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p> | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|------------------------------|----------------|--------|------------------|------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき) | ②読書活動の推進(つづき) | 73 | 図書館協議会委員 | 図書館 | ・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。 | <p>・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方から意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができています。</p> <p>・町内の読書活動において地域差が存在することから、「出前図書館」の開設が始まったが、図書館協議会では、さらに発展した事業として移動図書館車の導入の意見を引き続きいただいている。色々な面から困難な点もあるが、今後とも検討を重ねていきたい。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進 | ①人権尊重のまちづくりの推進 | 74 | 人権教育推進事業 | 人権政策 | 人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。 | <p>人権教育・啓発活動の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <p>・ひまわりセミナー開催11回企画して10回実施参加者299人</p> <p>・県外研修会への職員派遣</p> <p>ひまわりセミナーでは、従前の年間10回の枠から、11回を企画し学習機会の充実に努める。 職員の県外研修派遣も再開する。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 75 | 人権教育・啓発推進協議会運営事業 | 人権政策 | 伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。 | <p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <p>・各種人権週間広報啓発活動</p> <p>・行政職員悉皆研修(「差別の現実から学ぶ」講話・差別対応マニュアル等について4回実施・参加者は役場の会計年度任用職員を含む職員は悉皆)</p> <p>・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数815点)</p> <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <p>・明るいまちづくり懇談会(参加型学習で、5集落開催)視聴覚教材等による学習を併用した。</p> <p>・伯耆町人権フォーラム2023(参加者153人)</p> <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <p>・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業)</p> <p>・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸)</p> <p>・自主製作したDVDを事業所部会の企業へ訪問配布</p> <p>(4)関係機関団体との連携</p> <p>・研究校の指定と授業研究会の開催</p> <p>・研修会への参加(オンラインによる参加)</p> <p>・各種団体の活動支援</p> <p>・明るいまちづくり懇談会を再開したが、従前の方法に新たな工夫を加えて、より充実させるよう努める。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|-----------------------------|-------------------------|--------|--------------|--------|---|---|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進(つづき) | ① 人権尊重のまちづくりの推進(つづき) | 76 | 文化センター管理運営事業 | 文化センター | 地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に取り組んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(5人) 23回(たくしクラブも参加) 延べ289人(内たくしクラブ179人) 中学生(1人) 18回 延べ30人(地区生徒16人) ・地区学習会だより「ひまわり」を発行し、保護者との連携を図ることができた。 ・相談事業 随時 ・各種教室 4教室 48回(生徒数 おんがく7人 編物5人 料理10人 芸能2人) ・各種講座 年15回 144人参加 ・ミニデイサービス事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着。地域活動への参加につながっている。延べ11回145人参加 ・百円ランチ 11回 134人参加 ・交流研修事業 町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。6団体 97人参加 ・だんだんまつり 2月 420人参加 ・その他児童館事業(わくわく土曜日、夏休みのお楽しみ)、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 77 | 男女共同参画推進事業 | 人権政策 | 家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。 | <p>平成28年度から総務課に移管となり、男女共同参画推進計画の策定については、総務課で行っているが、個別の人権課題の一つとして引き続き啓発に取り組む。</p> <p>今後とも総務課と連携して啓発活動を継続して実施する必要がある。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 78 | 町営住宅修繕事業 | 人権政策 | 老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。 | <p>老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。</p> <p>町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|--|--------------------|--------|--------------------|----------|--|---|----|--|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(3) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造 | ① 文化財の保 存と活用 | 79 | 埋蔵文化財調査 事業 | 生涯 学習 | 開発に伴って事前に試掘調査を行い、 埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事 業者との調整を図る。 | <p>本年度実施する必要がなかった。</p> <hr/> <p>開発に伴って事前に試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 80 | 文化財保護事業 | 生涯 学習 | 本町にある指定文化財等の維持管理 及を行う。また、出土品の展示や歴史 文化に関する講演会等を開催し、郷土 の歴史学習の機運を醸成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件 ・指定文化財等の維持(草刈り、除草等)を実施した。 ・文化財保護審議会を開催し、指定文化財等の適切な管理等について協議を行った。令和6年3月26日開催。 ・企画展示「近代伯耆のタイムカプセル」令和5年12月16日～23日 矢田貝家住宅 観覧者36名 <hr/> <p>文化財保護審議会の意見を基に適切に指定文化財等の管理に努める。 郷土の歴史や文化に触れることができるように講演会の開催や情報提供を行う。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 81 | 文化財整理・保 存施設管理事業 | 生涯 学習 | 空き施設である旧鬼ミュージアムを文 化財整理・保存施設として再整備する とともに、民俗資料及び文化財の常設 展示を行い、貴重な資料・文化財を後 世に伝える。 | <p>過去の発掘調査によって出土した埋蔵文化財や民俗資料が約1,000点ある。文化財整理員を任用して文化財の整理を行った。保管している資料にどのようなものがあるか悉皆調査を行い一覧表を作成し、詳細調査を行った。</p> <hr/> <p>今後は展示場所を確保し、具体的にどのような資料を取扱い、どのような展示内容にするのか検討していく。</p> | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | | | |
|---------------------------------|----------------|--------|---------------|-------|--|--|----|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | | | |
| 3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき) | ② 地域芸術文化の振興 | 82 | 地区文化祭・まつり開催事業 | 岸本公民館 | <p>公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。</p> | <p>令和5年度の岸本公民館きないや祭は、11月18(土)・19日(日)に岸本公民館、岸本小学校体育館を会場として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナが5類に移行したことから通常開催となった。 ・作品展、行政展など展示関係を岸本公民館で、フリーマーケットや公民館教室等の発表を岸本小学校体育館で開催することができた。 ・豚汁の無料提供や青空市、吉長市も通常開催。 ・2日間の来場者数2,022人(前年562人)、前年比360%増 | ○ | <p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> | | |
| | | | | 溝口公民館 | | <p>・溝口公民館祭 3月16・17日開催 17日は溝口彼岸の市との共同開催となった。実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生ボランティアの協力があり助かっている。コロナ前の状況に戻って開催できた。体験コーナー、作品展示、溝中吹奏楽部演奏、くろぼくコンサート、JA女性会の物販、食改の試食コーナー、本のリサイクル市等を行った。出演サークルが丸丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった1日目282人(前年112人)・2日目646人(前年239人)。</p> | | | ○ | <p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> |
| | | | | 二部公民館 | | <p>・第39回たたらまつりを2月24日～26日で、実施した。</p> <p>・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりにしていきたい。</p> <p>来館者：656人</p> <p>・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。</p> | | | | |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---------------------------------|---------------------|--------|--------------------|-------|---|---|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき) | ② 地域芸術文化の振興(つづき) | | 地区文化祭・まつり開催事業(つづき) | 日光公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・第44回日光ふるさとまつりを3月9日～10日に開催した。(参加者240名) ・各種同好会や地区住民等の作品展示・フリーマーケット・農産加工品の物販に加え、日光そば・餅つき・食改の試食コーナー・体験コーナーも復活しコロナ前の事業内容となった。また、義方公民館の海産物の即売会は見送りとした。 ・実行委員会を組織し住民参画により、地区住民の意見を十分に取入れた事業内容を検討していく。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 83 | 写真美術館管理運営事業 | 美術館 | 美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、来館者への感染症対策の呼びかけは廃止したが、引き続き、館内での感染症対策として手指消毒液の設置、受付用透明パーテーションの設置、館内の定期的な消毒を行った。 ・企画展3回、地元新聞紙、その他雑誌等掲載 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 84 | 写真美術館改修事業 | 美術館 | 施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は予算計上なし 映像展示システムが老朽化により不具合が出始めているため、更新を検討する必要がある。 | | |
| | | 85 | 鬼の館運営事業 | 生涯学習 | 本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 適切な維持管理を行い、町内サークル等の発表の場を提供した。利用件数:128件、利用人数:4,332人 引き続き文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供していく。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---------------------------------|---------------------|--------|------------|------|---|---|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき) | ② 地域芸術文化の振興(つづき) | 86 | 地域文化活動の支援 | 生涯学習 | 豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。 | <p>地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の支援と、各種文化事業を計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興会の支援 詳細はNo.88参照 ・文化講演会 6月10日(土) ・伯耆町美術展 11月11日(土)～13日(月) ・伯耆町民音楽祭 8月27日(日) ・ほうきミュージックフェスト2023 9月17日(日) ・歴史探訪 11月14日(火) ・くろぼくコンサートの支援 <p>住民と一体となって、芸術文化の振興を図っていく。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 87 | 文化活動団体支援事業 | 生涯学習 | 町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。 <p>・文化の継承のためにも、団体の安定的な運営に向け継続した支援が必要。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 88 | 文化振興会補助事業 | 生涯学習 | 町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数38人(令和6年3月現在) | <p>コロナ禍前と同様に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総務部会 ・総会(6月10日、文化講演会前に実施) <ul style="list-style-type: none"> ・文化講演会(講師 版画家 生田眞氏) ・会報19号発行(全戸配布) ○音楽部会 ・第18回町民音楽祭(14団体参加、来場者200人) <ul style="list-style-type: none"> ・ほうきミュージックフェスト2023(3団体参加、来場者70人) ○美術部会 ・第19回美術展(一般展示49点、特別展16点、児童生徒118点展示、来場者608人) ○歴史文化部会 ・歴史探訪(「菅谷たたら山内」「鉄の歴史博物館」、参加者14人) <p>・役員、会員の高齢化。 ・組織のあり方について、会の中で検討し意思統一していく必要がある。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---------------------------------|------------------------|--------|----------------------|----------|---|--|----|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき) | ② 地域芸術文化の振興(つづき) | 89 | 教育委員会表彰事業 ※芸術文化の部 | 生涯学習 | 町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。 | <p>感染対策を講じて、3/27に表彰式を開催した。 大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者：芸術文化の部 49名 スポーツの部 81名 7団体</p> <p>表彰規定の見直しを行い、令和5年度から適用した。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 90 | 写真芸術・文化振興事業 | 美術館 | 写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。 | <p>・写真美術財団の事業として、フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップを実施した。</p> <p>・フォトコンテスト 応募点数：一般の部504点(231人) 18歳以下の部：198点(166人) 審査員：織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、平間至(写真家) 入賞・入選作品展示：11月8日(水)～12月10日(日) 表彰式：11月26日(日)</p> <p>・フォトスクール プログラム：作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評 参加者数：12団体(町内小中学生他) 172人</p> <p>・ワークショップ テーマ：写真を使わずに、写真が作れる？ 開催日：8月5日、6日(各日午前午後の2教室) 対象：小中学生 参加者：44名</p> <p>・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できにくくなっている。新たな借入先を見つけるか、購入するか等の検討が必要。</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援 | ① 幼児・小中学生のスポーツ活動の推進 | 91 | こども体力・運動能力等向上事業 | 総合スポーツ公園 | 幼児を対象として、体力・運動能力向上を目的に町内各保育所へ指導員を派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業) | <p>町内5保育所で年中・年長児を対象に運動教室を年間74回開催した。</p> <p>運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する</p> | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|----------------------------------|----------------------------|-------------|------------------------------|--|---|--|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき) | ① 幼児・小学生のスポーツ活動の推進(つづき) | 92 | 伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援 | 総合スポーツ公園 | スマイリースポーツクラブに所属するジュニアクラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。 | ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。 ・支援対象ジュニア団体 9種目11団体 ・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組むとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 93 | スポーツクラブとの連携による健康づくり | 総合スポーツ公園 | 教育委員会や健康対策課が主管する、町民の健康づくりやスポーツ振興を目的とした事業をマイリースポーツクラブと連携し実施する。 | ・町内保育所児童を対象に「子ども体力運動能力向上事業」として体操教室を開催している。【年間74回開催、延べ参加者数1,110名】 ・高齢者運動教室「まめまめクラブ」は健康対策課が直営で開催することとなった。【一部スマイリー指導員参加】 ・大人を対象とした元気アップ教室やウォーキング大会など、子どもを対象とした水泳教室、親子体操教室など、補助事業として教育委員会と連携し開催している。 健康づくり関連の運動教室をスマイリースポーツクラブと共催する形で実施していく【事業番号96に実績を記載】 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | 94 | スポーツ推進審議会事業 | 総合スポーツ公園 | 教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。 | 下記の項目を主な議題として審議会を1回開催した。 ・スポーツ推進計画(第2次)の進捗状況とまとめ ・スポーツ推進計画(第3次)の策定について ・中学校運動部の地域移行について ・令和6年度からの伯耆町スポーツ推進計画(第3次計画)を策定した。計画に沿ってスポーツ振興に取り組む。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 | |
| | ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | 95 | スポーツ推進委員事業 | 総合スポーツ公園 | 委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営 | ・各種研修会やスポーツ大会運営補助などの活動に取り組んでいる。 ・部活動地域移行協議会、スポーツ推進審議会、町民運動会実行委員会、スマイリースポーツクラブ理事・監事など、各種委員に就任している。 ・スポ少指導員、部活動指導員、アスリートクラブ代表など、町スポーツ団体の運営に寄与している。 ・委員の定員は8名で任期は2年間である。(任期:令和7年3月31日) | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|----------------------------------|----------------------------|--------|-------------------------------|----------|---|---|-----------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき) | ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(つづき) | 96 | スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係) | 総合スポーツ公園 | スポーツを通じて地域住民の健康増進や体力向上を目的に活動する総合型地域スポーツクラブ、「ほうきスマイリースポーツクラブ」が主催するスポーツ活動に係る経費の一部について補助金を交付し支援する。 | 健康づくり等を目的とした教室・大会を開催し町民の健康増進に寄与した。 ・スマイルフィットネス教室 2期各10回 延べ300人 ・ほうきキッズアスレ 17回延べ255人 ・スマイリーウォーキング 24人 ・キッズクロスカントリー大会 22人 ・親子体操教室 3回延べ84人 ・親子モルック教室 8名 ・体力テスト判定会 20名 ・夏休み短期水泳教室 4日間延べ56名 ・夏休み幼児泳教室 3日間延べ24名 ・スマイリースポーツクラブはスポーツ庁・日本スポーツ協会が設立を推奨する「総合型地域スポーツクラブ」であり、行政主導ではなくクラブ員や地域住民の意見を取り入れたスポーツ活動を今後も実施していく方針。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| 4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備 | ①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備 | 97 | 町内体育施設管理運営事業 | 総合スポーツ公園 | 町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園等の管理運営を行う。 | 各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町民体育館ほか) 37,627人(+12,293人) ・総合スポーツ公園 31,455人(+6,306) 新型コロナ対策の規制が緩和されたため利用者が増加傾向である。 (主な施設修繕業務) ・B&Gプール設備大規模改修(ろ過機、ボイラー、缶体塗装ほか) ・総合スポーツ公園公衆トイレ改修(屋根防水、天井塗装ほか) ・町民グラウンド多目的トイレ便座取替 ・B&Gアリーナ窓開閉装置修繕 ・溝口武道館器具庫木製上吊り引分戸修繕 ・溝口体育館センターネット修繕 ・B&G給湯減圧弁バルブ取替 ・B&G玄関サッシヒンジ取替 (主な施設管理委託業務) ・総合スポーツ公園芝生更新業務 ・総合スポーツ公園及び溝口体育館植栽剪定業務 ・各施設消防用設備点検業務 ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 98 | 体育施設改修事業 | 総合スポーツ公園 | 体育施設を快適な環境で利用できるような施設改修等を行う。 | ・B&Gプール設備大規模改修(ろ過機、ボイラー、缶体塗装ほか) ・総合スポーツ公園公衆トイレ改修(屋根防水、天井塗装ほか) ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の改修等を行う。 | ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | | 評価 |
|------------------------------------|--------------------------------|--------|---------------------------------|----------|---|--|---|------------------------------|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備(つづき) | ① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備(つづき) | 99 | 伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援 | 総合スポーツ公園 | スマイリースポーツクラブ(アスリートクラブ)に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。 | スマイリーアスリートクラブの活動を支援し、競技力の向上、競技普及及び各種競技大会へ参加を支援した。 ・支援対象アスリートクラブ団体 7種目7団体 ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 100 | 各種スポーツ団体補助事業 | 総合スポーツ公園 | 伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。 | ・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。 ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 101 | 教育委員会表彰事業 ※スポーツの部(No89事業の再掲) | 生涯学習 | 町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。 | 感染対策を講じて、3/27に表彰式を開催した。 大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者：芸術文化の部 49名 スポーツの部 81名 7団体 表彰規定の見直しを行い、令和5年度から適用した。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 | |
|---|---------------------------|--------|---------------------------|-----------|---|--|----|---|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | | |
| 4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 | ① スポーツ交 流の充実・ 支援 | 102 | 地区運動会・その 他イベント開催事 業 | 岸本 公民館 | 町民総スポーツの中心的な事業として 運動会を開催し、子どもから高齢者ま での参加により地域の連帯感、親睦を 深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる 実行委員会を組織し、企画、準備、運 営を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会岸本地区大会を10月1日に開催した。36集落のうち、14集落の参加。(令和元年度24集落の参加に対し10集落の減) ・アンケート結果から、集落内の少子・高齢化等により参加しにくい傾向にある。(選手集め等、役員の負担感が大きい) ・午前中で終了するプログラム、種目の年齢制限緩和など参加しやすい工夫が必要。 | ○ | 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | | | 溝口 公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月15日に開催する予定であったが当日、急遽、雨のため中止となった。実行委員会を開催するに当たり溝口地区の区長会を開催し、実施についての意見集約を図りながら開催するようにした。 ・平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続で雨天中止となった。令和2年度、令和3年度、令和4年度は、新型コロナウイルスにより中止となった。令和5年度についても雨天中止となった。令和6年度以降の開催にあたっては、事業を再構築するくらいの労力が必要になる。 | △ | 継続事業ほ ぼ達成70%以 上又は新規 事業達成不 十分50%以上 |
| | | | | 二部 公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会二部地区大会 6月26日二部公民館で区長により協議をした結果、少子高齢化による人口減少により運動会の開催は困難と判断した。 また、運動会に代わる高齢者から子どもまで集える催しとして、二部地区活性化推進機構主催のeスポーツ体験交流会を1月27日(土)に開催した。 令和6年度は、高齢者から子供まで集える催しを、二部地区活性化推進機構主催で開催する予定 | ● | 未実施事業 20%以下、 |
| | | | | 日光 公民館 | | <ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会日光地区大会については、年齢制限の撤廃や男女別の緩和など参加しやすいよう工夫をしていたが、選手集めが大変、若い者の参加が少ない、2～3種目に重複して参加しているなどの課題があった。 そのため、6月30日に区長等で協議し、運動会を続けることができないとの結論となり廃止とした。 ・伯耆町駅伝大会についても公道での危険性や日光女性会の解散、農村広場の管理などの課題があり廃止とした。 令和6年度から運動会の代替事業を開催する予定である。 | ● | 未実施事業 20%以下、 |

| 計画分類 | | 主な事務事業 | | | | | 評価 |
|--|------------------------------------|--|--------------------------------------|---|--|---|---|
| 施策方針 | 事業方針 | 番号 | 事業名 | 担当 | 事業概要 | 主な成果等 | |
| | | | | | | 主な課題・改善方針・今後の展開等 | |
| 4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき) | ① スポーツ交 流の充実・ 支援(つづ き) | 103 | 生涯スポーツ振 興事業 | 総合ス ポーツ公 園 | 一般町民を対象としたスポーツ大会を町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、町民の健康づくり及び町民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。 | 一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業計画した。新型コロナ対策等を理由に2大会は中止とし、他5大会は予定通り開催した。 ・4月 バドミントン大会 中止 ・5月 ソフトテニス大会 実施 ・9月 野球大会 実施 ・10月 駅伝大会 中止 ・11月 ハレホール大会 実施 ・1月 バドミントン選手権大会 実施 ・3月 卓球大会 実施 ・バドミントン大会と駅伝を除き予定通り実施した。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 104 | 生涯スポーツ振 興事業(ジュニア スポーツ大会関 係) | 総合ス ポーツ公 園 | 町内小学生を対象にしたスポーツ等のイベントを開催し、スポーツに親しむ基盤づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図る。 | 小学生を対象とした町主催事業(B&G財団関連事業)を実施した。 ・5月 海ごみOフェスティバル(ゴミ拾いボランティア活動)40名 ・7月 B&G水辺の安全教室 6名 ・2月 B&G会長賞ジュニアバドミントン大会 16名 ・スマイリーが主催する小学生対象事業とともに、今後も連携して実施していく。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | 105 | オールジャパン ジュニアトライア スロンin伯耆補 助事業 | 総合 スポーツ 公園 | 全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。 | | | |
| 4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき) | ③ 競技スポー ツの支援(つ づき) | 106 | スポーツ優秀選 手支援事業 | 総合 スポーツ 公園 | 町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。 | ・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 9件 ・全国大会に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 22件 ・今後も競技スポーツの振興を図るため支援を継続実施する。 | ○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上 |
| | | 107 | 東京オリンピック 聖火リレー事業 | 総合 スポーツ 公園 | 東京2020オリンピック聖火リレー及び、パラリンピック聖火展示を実施する。 | | |

自己点検・評価に関する回答票

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、PTA会長、スポーツ推進審議会委員及び地域学校協働本部実行委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

| | |
|-------------------|--|
| 教育行政全般に関するご意見・ご感想 | <p>全107事業のうち未実施？4事業を除く103事業で、「○・継続事業で目標が達成された事業・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業」が99%以上の102事業あったというのは、素晴らしい成果だと思います。 改めて、伯耆町教育の底力を強く感じたところです。 令和6年度以降も、「第2次伯耆町教育振興基本計画」を常に念頭(机上)に置き、それに基づいてより高い志(目標)を掲げて、すべての伯耆町民のために事業を展開してほしいと願います。 教育には「これでいい！」というものはありません！ 私も、一伯耆町民として当事者意識をもって関わっていけたらと思っています。</p> |
| | <p>現在、小学校1校の児童数、特別支援学級の数が増えてきている。環境の平準化を図っていくことを考えていくべきかと感じます。また、小規模校でも、魅力ある教育課程を実践されており、小規模転入制度特認校も考えてもよいのではと感じます。</p> |
| | <p>いろいろな方向から子ども達へのプログラムが生まれ、たくさんの経験を積み上げていると感じます。 只、子ども達自らが自己判断し、地域で、集団で遊んだり行動する姿が殆どみられません。 将来、一人立ちしなければならない時に、自己判断力がどこまで養われるのかなとチョッと気になります。</p> |
| | <p>評価シートの事業名、概要等に予算・決算額が示してあると大変参考になるのであるが！ 継続事業もあるべきだが、児童・生徒の学力、運動能力等、家庭や地域の教育力等変化があるわけなので、新しい事業について積極的に示してほしい。</p> |
| | <p>子供達を楽しいと思うイベントが増えたらと思う。よろしくお願いします。</p> |
| | <p>学校教育の充実を図るのは当然だが、義務教育を終えた子供たちの活躍の場を地域に作っていかないと人づくりにつながらないと感じる。社会教育に充実を期待する。</p> |
| | <p>学校の要望に丁寧にご対応いただきありがとうございます。気が付いたことといえば、発出された文書に同じようなミスが繰り返されたことがありました。</p> |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|-----------------|---|
| 1 | 学力向上推進計画策定と進捗管理 | これらの検査は客観的データでもあり学力向上推進のバロメーターとして有効ですので継続をお願いします。 |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|-------------------------------|---|
| 2 | 標準学力調査及び分析の実施 | <p>今後も学力を図る指標として継続が必要と感じる。</p> <p>年2回の標準学力検査を予算措置していただきありがとうございます。</p> |
| 3 | 小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業 | <p>学力補充教室や英検受検への施策が周知され、利用促進につながっているのか甚だ疑問である。</p> <p>英検補助をしていただきありがとうございます。</p> <p>外部からの講師を招聘することで校内研が充実していくと考える。継続していただきたい。</p> |
| 4 | 体力向上計画策定と進捗管理 | <p>実際に体力は向上しているのか。90%の意図は？</p> <p>小体連等の大会がなくなったこととコロナ禍での指導もあり、泳力の低下が見られる。今後、指導力の向上を図る町全体の取り組みが必要である。</p> |
| 5 | 小学校外国語教育推進事業 | <p>小学校へのALT1名配置の時間数がわからないのでなんとも言えないが、単なるゲストティーチャーになってはいないのか？</p> <p>全町で1名のALTをつけていただき、大変ありがたい。今後とも継続をお願いしたい。</p> |
| 6 | 外国青年招致事業 | 令和5年度は、小学校への派遣もあり、児童がALTと触れ合う場があり、貴重な体験となりました。 |
| 7 | 栄養教諭による食指導 | 1人体勢にならない。後継者育成頑張ってください。 |
| 8 | 伯耆町教育振興会事業 ・学校保健 | 保小中での食育指導を行って情報交換をしたり、今年度は町広報誌で食育の啓発を実施したりした。 |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|-------------------------------|--|
| 9 | 運動部活動推進事業 | <p>部活動の改革が着実に進められており、今後も学校と地域が連携した現実的な改革が望まれます。</p> <p>教職員の負担軽減に取り組んでいただきたい。</p> <p>学校外のチームに入る子供が増えており、部活動の人数が足りなくなるか心配。</p> <p>岸本中には5名の配置をいただきありがとうございます。令和7年度も引き続き5名以上の配置をお願いします。</p> <p>中学校の部活動地域移行について、どこでだれが検討しているのかわからず、地域の者には、どこまで検討されているのか伝わってこない。</p> |
| 10 | 特別非常勤講師配置事業 | 専門的な指導がしていただけるのでありがたい。今後も継続を希望する。 |
| 12 | 小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会 | <p>中学校区での取組の共有が今後重要になると感じる。</p> <p>引き続きご支援をお願いします。</p> |
| 14 | 伯耆町教育振興会事業・研究大会 | 隠樹先生の講演会はとても具体的で有意義でした。 |
| 15 | 伯耆町教育振興会事業・授業研究会 | 職員の減少、職員構成のアンバランスさ、働き方改革等の課題があり、今後検討していく必要を感じる。 |
| 18 | 学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問 | <p>学校訪問だけでなく、教育委員さんには折に触れて学校に来ていただけるとありがたい。</p> <p>フィードバックをさせていただいており、学校の雰囲気づくり、授業づくりに役立てております。</p> |
| 19 | 伯耆町教育振興会事業・保小中一貫教育 | 保小中一貫カリキュラムの認識が低いように感じる。 |
| 21 | スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動) | スクラム教育の関する冊子。すみません、知らなかったのを見たいです。 |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|-------------------|---|
| 22 | 中学校教員の小学校への乗入授業 | <p>可能であればやる、そうでなければしない、というような一貫性のないことでは気休めにすぎない。</p> <p>溝中にそのまま上がった溝小の児童たちの様子は、実際にどうなのでしょう。</p> <p>可能であれば、今後も継続していただきたい。</p> <p>教員不足の中、今後この取組が継続できるかが課題である。</p> |
| 23 | 就学支援検討会 | <p>ぜひ継続してもらいたい。</p> <p>観察会を含め、詳細な状況の把握、必要な支援の検討につながっている。</p> |
| 24 | 伯耆町教育振興会事業・就学支援 | <p>保小の連携も含めて、大変丁寧に対応していただき、児童のスムーズな就学ができた。</p> |
| 25 | 中学校区の児童生徒を語る会 | <p>ぜひ継続してもらいたい。</p> <p>大変、大切な会であると思うが、コロナ禍が明けてたくさんの会合が復活して昨今の現状をみて、会の在り方を考えていただくとありがたい。</p> <p>お互いが情報共有して進めていきたい。</p> <p>中学校の生徒の問題が課題としてあがることもなく、次年度になって伝えられた件がある。何が語られ、何を課題とするのか、頼りない。</p> |
| 26 | 少人数学級実施事業 | <p>岸本小学校を除けば、ほぼ全て、少人数であるが、次の段階について検討を始めるべきではないのか。</p> <p>複式学級の解消をしていただけるのはありがたい。今後も継続していただきたい。</p> <p>全学年少人数学級を実施していただきありがとうございます。生徒ひとりひとりに関わる時間が保障され、学習支援や生徒支援において、生徒一人一人が大切にされている実感にもつながっています</p> |
| 27 | スクールソーシャルワーカー活用事業 | <p>関係機関との連携、特に福祉との連携に課題を感じた。</p> <p>小中と行政をつないでいただいております。引き続きお願いします。</p> |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|--------------------------------|--|
| 29 | 特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター | 増員となった場合に人手は足りるのか。頑張ってください。 |
| | | R7年度も継続配置をお願いします |
| | | 適切なアドバイスを適時いただき、大変ありがたい。 |
| 30 | 特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等 | R7年度も継続配置をお願いします |
| | | 増員となった場合に人手は足りるのか。頑張ってください。 |
| 31 | 学校図書整備及び図書館司書配置 | 学校図書館のシステム化を積極的に進めていただきたい。 |
| | | 学校図書システム導入が、きわめておこなわれている伯耆町である。補助金をあてにすることで、読書活動推進は望められない。 |
| | | 学校司書と図書館システムは、セットでより効果が発揮される。図書館システムの早期導入をお願いする。 |
| | | 図書館づくりには欠かせませんので、継続配置をお願いします。 |
| | | 学校図書館システムの導入について、補助金等の財源を利用せずに、町財源で早期に導入するよう希望する。また、図書費の確保についても要望する。 |
| 32 | 校務支援システムの活用 | 校内の事務がかなりはかどるようになってきている。今後とはさらに使い方を習熟させたい。 |
| 34 | 就学援助事業 ・要保護、準要保護 | 継続的に行ってほしい。援助は足りているのか。 |
| 35 | 就学援助事業 ・特別支援教育就学奨励金 | 継続的に行ってほしい。援助は足りているのか。 |
| 36 | 学校施設整備事業 | 体育館へのエアコンの設置 |
| | | 学校間で老朽化の程度の差が大きいと感じる。今後を見据えた対応を検討していただきたい。 |
| | | 老朽化したから改修では遅すぎる。定期的なメンテナンスの計画がなければ予算化できないのでは？ |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|----------------------|--|
| 37 | 小学校施設修繕事業 | <p>各校の現状はあると思うが、人数に応じて修繕等、安心な環境整備をしていただくとありがたい。</p> <p>複合施設問題で、修繕が止まっている。老朽化している箇所等、早急に対応してほしい。</p> |
| 38 | 中学校施設修繕事業 | 水質検査では問題なしではあるが、水のおい気になるとの声がある。 |
| 39 | 教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業 | 各校の現状はあると思うが、各校の人数がかなり変わってきている中で予算を再考する時期にきていないだろうか。 |
| 41 | バス事業担当課との連携 | 今後課題が山積だが、何とか学校運営に支障が出ないようなスクールバスの運用をお願いしたい。 |
| 43 | 防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実 | 「浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校」とは、どこの小学校でしょうか。保護者や地域住民にもしっかり共有させてください。 |
| 46 | 食材供給連絡協議会との連携 | 44品目中、50%以上を町内産で賄えているということは、伯耆町の強みでもあります。(No.7)食育と連動して町民全体にも広く知って頂きたいと思います。 |
| 48 | 青雲寮管理運営事業 | <p>多目的利用は良いと思うが、通学合宿等は事務局の負担が大きく、お荷物とはなっていないか。</p> <p>青雲寮の管理は溝口中学校に移管されたのではないのでしょうか。中学校に移管との標記で、評価の必要はないと思いますが。</p> |
| 50 | 家庭教育ハンドブック配布及び活用事業 | 予算は大変であると思うが、担任等や新しく来たものに配布をしていただくとありがたい。 |
| 51 | PTA協議会補助金 | <p>PTA活動が沈滞化している。学校からの働きかけも弱いのではないか。保護者の協力、支援の必要性を教えることも大事である。</p> <p>通常は、町とPTA協議会との共催事業を実施しているとのことですが、PTA協議会として必要な事業ということであれば、町事業は廃止し、PTA協議会にお任せすべきではないでしょうか。</p> <p>町は、町でしかできないことに特価し、役割分担したほうが効率的ではないでしょうか。</p> |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|-----------------|---|
| 52 | 学校運営協議会運営事業 | <p>『(施策方針)2-(1)学校・家庭・地域・行政の連携 (事業方針)②まち全体で子供を育む地域と共に創る学校の推進』の7事業(No.52~57)については、計画に基づき組織的また系統的に素晴らしい取り組みがなされています。本町の特徴である「ほうき『人・まち・未来づくり』アクション」や「ほうき『人まち未来』アクションフォーラム」についても事務事業の中に明確な位置づけをしてほしいと思います。</p> <p>学校が目標ばかり掲げ、課題となるものをきちんと示していない。協議会が形骸化しないよう努力が必要。</p> <p>町の人々に周知をさらに広げる方が良いと思う。</p> |
| 53 | 地域学校協働本部事業 | <p>地域を生かした体験活動、大変有効と考えます。将来の夢実現の為、いろいろ体験してほしい。</p> <p>「ゆめネット」の取組と伯耆 学習がさらにつながっていくことを期待します。小学校高学年の児童も「ゆめネット」で出会えるとよい。</p> |
| 54 | 伯耆町教育ネットワーク会議事業 | <p>あいさつを更に広げる。</p> <p>「あいさつの響きあう町・・・」は、一部で努力された学校もあるが、全体としてみれば低調ではないか。広がっていない。</p> |
| 55 | 子供の体験活動事業(学校) | とても良いと思います。 |
| 58 | 青少年育成伯耆町民会議運営支援 | 岸中前でのマナーアップ運動に地域の方が参加されるのか、されないのかがわかりませんでした。 |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|----------------------------|---|
| 59 | 高校生サークル ((旧)高校生ユースセミナー) | <p>駅でチラシの配布、ポスターの掲示等は、全く意味が無いと思います。直接話をし、意味等をしっかり伝えないと、メンバーは集まらないと思います。もっと色々な力を借りるべきと考えます。</p> <p>サークルを組織することが目的ではなく、何を求められているのか、具体的な活動や目標を示していくことが必要ではないのか。中学で育成しておきたい。</p> <p>町内に高校がなく、米子市または日野町の高校へ通学する子どもがほとんどのため、メンバー集めは大変だと思います。中学生の部活にボランティアサークルを立ち上げ(既にあるのかもしれませんが)、続けたい人は続けられることとし、年齢制限なしで高校生、大学生、就業者など、様々な年代の人で組織することで、将来は運営自体をお任せしてできるようになるといいと思います。</p> <p>何とか具体策を講じて、復活させたいものです。</p> <p>忙しい高校生活を送る中で、ただ漠然とサークルを相談しようとしても難しいのでは？この活動をするメリットを与えてあげないと関心を持たれないのでは？ターゲットを高校生に絞らず、含める形で枠を広げてはどうでしょう。</p> <p>活動を復活させる為に、今、町や教育委員会が行っている事業の何かを精査して、高校生に任せてみてはどうでしょうか。</p> <p>「ゆめネット」を通じた子どもたちの地域貢献の取組が、高校生へとつながってほしい。</p> <p>ゆめネットの活動の成果として、高校生になっても地域貢献をしながら、地域の仲間づくりにつなげていくような取り組みにしてほしい。</p> |
| 61 | 二十歳を祝う会((旧)成人式) | 正月に行うのは難しいのか。 |
| 62 | 通学合宿事業 | 他学校の児童交流はとても良いと思います。 |
| 63 | 読谷村教育交流 | <p>この交流は町民に周知され、期待されたものになっているのか。小・中・高を均等に分け、中・高生を中心にしたのにすべきだと思う。</p> <p>今後も継続して教育交流が発展する仕掛けがあるのではないかな。</p> |
| 65 | 生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催) | 若中年層(20代~60代)いわゆる現役と言われる方々は、仕事でなかなか公民館に足が向かないので、その世代でも参加できる曜日(土・日・祝日)、時間帯(19時以降)の教室や講座を充実させてはいかがだろうか。 |
| 68 | 生涯学習まちづくり推進事業 | 住民が自然に集まってくるような、サロンとしての場を設けるとよいのでは。住民同士の出会いの場が必要では。 |
| 69 | 社会教育主事等の育成 | 役場内で計画的に育成ができているのだろうか？ |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|----|---------------|--|
| 71 | 図書館管理事業 | <p>町立図書館の収蔵能力の強化が必要である。閉架書庫、開架書棚の整備が必要である。</p> <p>語彙が増えるイベント。おすすめの本を各学校においてみる。</p> <p>大人から子どもまで読書活動を促進する取り組みをされていると思う。継続実施していただくと大変ありがたい。</p> |
| 72 | 図書館振興事業 | <p>図書館へ行くことの楽しみ。本を読む楽しさを支えてくれる図書館。段々と足を向ける人も増えている様に思います。文化活動の基点として活動の拡大を望みます。</p> <p>子どもや高齢者の取り組みは充実していると思うが、やはりここでも若中年層への対応が薄く感じる。子育て、現役世代も読書をする余裕と機運を仕掛けてもらいたい。</p> <p>LINE、インスタ等を利用した情報提供を検討してほしい。学校図書館と連携したデジタル化を検討。</p> |
| 73 | 図書館協議会委員 | <p>図書協議会で決められた事は、概ね実行されていると思います。</p> <p>移動図書館車の導入は是非進めてほしい。ボランティアの活用も考えていただきたい。</p> |
| 78 | 町営住宅修繕事業 | 修繕は計画的に速やかに。 |
| 82 | 地区文化祭・まつり開催事業 | <p>日光公民館の事業として、「春のふるさと祭り」を開催しており、公民館活動として計画どおり活動していると思います。</p> <p>地区のまつりをコロナ前にもどるくらい」の祭りになれば。他の地区の方も来やすいイベントがあれば。</p> |
| 85 | 鬼の館運営事業 | <p>駐車場が整備され、とても利用しやすくなりました。</p> <p>空調がホールの後ろ側からだけのため、調整ができないままとなっているのは残念です。</p> <p>トイレの手洗いがかなり老朽化していて、今後の感染対策として自動水栓にしてはどうでしょうか。</p> |
| 88 | 文化振興会補助事業 | <p>歴史探訪は地域の遺跡等を知るのにいつもワクワク。今後も是非、地域の歴史を掘りさげて郷土歴史を知る機会を望みます。</p> <p>地域型部活として、各中学校の部活動の1つとして捉えてはどうだろう。</p> |

| NO | 事業名 | 事業や評価に関するご意見・ご感想等 |
|-----|------------------------------|---|
| 91 | こども体力・運動能力等向上事業 | <p>幼児期の運動遊びが、将来に大きく影響するものと考えます。大切な事業ですので継続・充実を望みます。</p> <p>学校の体育だけでは、十分向上しない。社会体育がリードして学校外での体力づくりをしていかないと子どもの体力は低下することを危惧する。</p> |
| 92 | 伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援 | 運動する子供が増えるようなCMを増やしていいと思う。 |
| 94 | スポーツ推進審議会事業 | 年1回の審議会にスポーツ振興が推進されるのか、それはどのように公表され、周知されるのか。 |
| 97 | 町内体育施設管理運営事業 | 公共施設、特に運動施設は、安全で衛生的に管理されなければならない。草だらけ、樹木だらけではあぶない。計画的に。 |
| 98 | 体育施設改修事業 | 夏に体育館使用を社会体育でフル稼働している場所もある。WBGT(暑さ指数)が危険な状況でも使用されている場合がある。快適な使用環境を考えた場合、室内の温度を遮熱する工事が必要ではないだろうか。 |
| 102 | 地区運動会・その他イベント開催事業 | <p>集落や地域で交流する機会が減少する中、運動、スポーツを通じた交流は貴重な機会です。お祭り気分で集える機会になればと思います。世話役は大変ですが、継続することが大切です。</p> <p>地区運動会が色々な意味で開催できにくくなっている。区長が意見を出すような従来の進め方はやめ、若い世代に検討させてみるべきではなかろうか。</p> <p>運動会でなくても地域の人が集う場を設定していくことが重要だと思う。</p> <p>他の市町では、中学生の参画を促し、運動会の実行委員であるとか、企画を採用するなど、地域と生徒との結びつきを強める仕掛けを実施するところもある。</p> <p>地域の現状に合わせて、何か地域住民が顔を合わせて世代を超えた交流ができるとうい。</p> <p>難しいと思うが運動会に出席が増えたら子供が楽しい、来やすくなる。</p> |

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

| 施策 | 番号 | 項目 | 概要 | 主な成果等 | 評価 | |
|----------|----|----------------|--|--|----|----------------------------------|
| | | | | 意見・感想、主な課題・改善方針等 | 評価 | 評価選択肢 |
| 教育委員会の活動 | 1 | 教育委員会会議開催 | ・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催する。 | ・規則等に基づき、定例会12回、臨時会1回を開催し、案件数99件(報告34件、議事19件、協議16件、その他30件)を審議した。 ・教育委員として、それぞれの立場から議案について意見を出し合い、協議することができた。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 教育委員会会議の運営上の工夫 | ・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する) | ・議案等資料を概ね1週間前に送付することで、事前に案件の内容把握を行うことで会議の効率化に努めた。また、平成28年から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い、見識及び共通理解を図った。 ・事前に資料を送付して頂き、会議の内容がつかめ、考えをまとめることができてよかった。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | 2 | 広報活動の状況 | ・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。 | 教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・今後も継続実施 | ○ | 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | 議事録の開示・公開の状況 | ・開示請求があれば、議事録の開示を行う。 | ・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。令和5年度は請求無し。 ・今後も継続実施 | ○ | 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | 3 | 教育委員会の事務局管理運営 | 事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。 | ・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果など) | ○ | 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | ・今後も継続実施 | | |

| 施策 | 番号 | 項目 | 概要 | 主な成果等 | 評価 | |
|---|----|----------------|--|--|----|------------------------------|
| | | | | 意見・感想、主な課題・改善方針等 | 評価 | 評価選択肢 |
| (4)町長部局との連携 | 4 | 教育委員会と町長部局との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、総合教育会議を1回開催し、各種学力調査結果及び保小中一貫教育の推進、地域学校協働活動の推進等に関して協議・検討を行った。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続実施 | | |
| | | | | | | |
| (5)教育委員の自己研鑽 | 5 | 学校訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また、学校行事等へ参加した。(卒業式・入学式など) | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの活動の様子に直接ふれることができ、各学校の教育の成果、課題がつかめてよかった。 ・学校訪問等で子どもたちの実際の様子を見させていただいたり、先生方のお世話を通して、子どもたちの実態を知ることができ、教育行政に活かすことができている。 | | |
| | | | | | | |
| | 6 | 所管施設の訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、体育施設・社会教育施設等の訪問は実施していないが、定例教育委員会において各施設の事業実施状況等(決算資料による)の確認を行った。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・数年前は教育委員会定例会を各施設で開催したこともある。そのような方法も考えてみては？ | | |
| | 7 | 研修会等参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、鳥取県市町村教育委員研究協議会、西部地区教育委員会連絡協議会研修会のほか、町教育振興会に参加し、教育委員としてのスキル向上に努めた。 | ○ | 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等に参加させて頂き、今、問われている教育課題について、理解が深まり有意義であった。 ・研修等に参加することで、他市町村での取組や先進的な取組を知り、伯耆町での教育活動で活かせる部分を学ぶことができる。 | | | | | | |